

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	駅前広場管理事業					事務事業コード	01805
部 名	都市建設部	課 名	道路整備課	係 名	道路管理係	部課コード	050400

1. 事業概要

総合計画コード	5212			
事業年度	年度 ～ H	年度	事業類型	◎ソフト事業 ○ハード事業
法令等の義務付け	○法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 ◎義務と任意の両方を含んでいる事業 ○任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務		<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 道路法 朝霞市駅前広場条例	
めざす 目的成果	駅前広場が清潔に清掃され、広場利用者が快適に利用できている。			
事業内容	北朝霞駅・朝霞台駅・朝霞駅前広場の清掃等の維持管理。			
事業手法	☐ 市の完全な直営 ☒ 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) ☐ 市民等との協働 ☐ 補助金交付 駅前広場の清掃等維持管理及び駐車場維持管理を委託する。			

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容			駅前広場、公衆トイレの清掃等を毎日実施した。								
			単位:千円		H26年度決算		H27年度決算		H28年度決算見込		
投入コスト	a 事業費[イ]～[ホ]		28,214		28,107		29,289				
	財源内訳	[イ]国庫支出金									
		[ロ]県支出金									
		[ハ]地方債									
		[ニ]その他							11,529		
		[ホ]一般財源	28,214		28,107				17,760		
	b 人件費		6,229		4,763		4,763				
総コスト(a 事業費 + b 人件費)		34,443		32,870		34,052					
投入労働量		常勤職員等(人工)		0.85 人		0.65 人		0.65 人			
		一般職非常勤職員等(時間)		時間		時間		時間			
a 事業費 (H28年度決算見込)の執行内訳			需用費 5,198千円 自動ドア保守点検 103千円、総合案内板保守点検 530千円、防犯システム保守点検委託料 238千円 北朝霞公衆トイレ及び北朝霞・朝霞台駅前広場清掃業務委託 8,316千円 朝霞駅前公衆トイレ及び駅前広場清掃業務委託 14,904千円								
指標名			単位	H28目標・計画 (H28実績見込)		H29目標・計画 (H29実績見込)		H30目標・計画 (H30実績見込)		最終目標・計画 目標年度	
活 動	①	駅前広場清掃実施日数	日	355 (355)		355 (—)		355 (—)		366 H 32 年度	
	②			()		(—)		(—)		H 年度	
成 果	①	駅前広場清掃実施率	%	100 (100)		100 (—)		100 (—)		100 H 32 年度	
	②			()		(—)		(—)		H 年度	

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	☒ A 必要性が高い	☐ B 必要性がある程度認められる	☐ C 必要性が低い
	☐ 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される ☒ サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている ☒ 法令等により、市に実施が義務付けられている ☒ 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる ☐ 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい ☐ その他 <説明> 道路法第16条、第42条及び朝霞市駅前広場条例において市町村道の管理及び維持、修繕について明記しており、常時良好な状態を保持する必要がある。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	☐ A 目標よりも大きな成果が得られた	☒ B 概ね目標の成果が得られた	☐ C 目標とする成果が得られなかった
	☒ 活動指標の目標を達成した ☒ 成果指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 駅前広場等の清掃を毎日実施し、気持ちよく利用できる施設管理を行った。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 誰もが安心して利用できる駅前広場、トイレの掃除を毎日行ない適切な環境維持ができた。 参加と協働: 美化団体と調整し一部植栽の維持管理を行った。 経営的な視点: 市、町内会、商工会などと積極的に協働し、様々な催し行い、内外に朝霞市をアピールできた。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	☐ I 見直す余地がない	☒ II 見直す余地がある程度認められる	☐ III 見直す余地がある
	☒ 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある ☒ 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある ☐ サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある ☐ 受益者負担のあり方について見直す余地がある ☐ 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある ☐ 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある ☒ その他 <説明> 駅前広場を常に良好な状態に保つことが必要なため、清掃の回数や方法など効果的に行うことを研究する必要がある。また、駅前広場の機械式駐車場について、老朽化した機器の交換も含めて民間委託の導入を検討する必要がある。			

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	☒ A 市で継続実施 ☐ B 休止・廃止 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ C 民営化 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ D 国・県に移譲 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ E 終了 (実施時期: ☐ H28年度まで ☐ H29年度まで ☐ H30年度まで)			
	成果の方向性	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小		
今後の取組方針	投入資源の方向性	事業費	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小	
		労働費	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小	
		☒ A 見直して継続 ☐ B 現状のまま継続		
	見直しの方向性	☒ 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期: H 31 年度) ☐ 業務プロセス改善 (実施時期: H 年度) ☐ 対象・水準等の見直し (実施時期: H 年度) ☐ 受益者負担の見直し (実施時期: H 年度) ☐ 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ その他 (実施時期: H 年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)		駅前広場の管理を今後も適切に実施する。駅前広場の機械式駐車場について、老朽化した機器の交換も含めて民間委託の導入を検討する必要がある。		